

地球温暖化の現状と未来予測

～今、何をすべきか～

講師 江守 正多 氏

(国立環境研究所気候変動リスク評価研究室長)

2100年地球はどのような?

2100
MIROC5 / RCP8.5

-12 °C

-6 °C

0 °C

+6 °C

+12 °C

(2100年の地表面温度シミュレーション画像) 東大/国環研/海洋機構/文科省

上の画像は、このまま何も対策をせず、温室効果ガスの排出を続けた場合の2100年の地球をシミュレーションしたものです。1900年頃の各地の平均地表気温を基準に、気温が上がるところは赤色、下がるところは、青色で示しています。

あなたは、この画像を見て何を感じますか？

ひらつか環境ファンクラブ活動発表会では、予測される未来の地球について、コンピュータで気候変動などのシミュレーション等を行う専門家で、IPCC(気候変動に関する政府間パネル)の報告書執筆にも携わった江守正多氏が講演します。また、市内で環境保全活動を行う市民団体が日頃の活動を発表しますので、ぜひ、ご参加ください。

日時 平成27年3月7日(土) 13:30~16:20
場所 平塚市中央公民館 小ホール(4階)
内容

(第1部) 講演

「地球温暖化の現状と未来予測～今、何をすべきか～」

国立環境研究所気候変動リスク評価研究室長 江守 正多 氏

(第2部) 活動報告会

市民活動団体(金目川水系流域ネットワーク、里山をよみがえらせる会、漂着物を拾う会、馬入水辺の楽校の会)が日頃の活動を報告します。

参加費 無料

定員 150人(先着順)

申込期間 平成27年2月23日(月)~3月5日(木)

申込方法

ひらつか環境ファンクラブ事務局(平塚市環境政策課)へ、氏名・住所・電話番号をご連絡ください。(定員に空きがある場合は、当日参加も可。)



江守 正多 氏

1988年神奈川県立江南高等学校卒業。1997年に東京大学大学院総合文化研究科博士課程にて博士号(学術)を取得後、国立環境研究所に入所。「地球シミュレータ」の現場で研究を行うために2001年に地球フロンティア研究システムへ出向し、2004年に復職した後、2011年より気候変動リスク評価研究室長として活躍している。

主な著書に「異常気象と人類の選択」(角川SSC新書)がある。

【申し込み・お問合せ先】ひらつか環境ファンクラブ事務局(平塚市環境部環境政策課)

電話: 0463-23-1111(内線2266) FAX: 0463-21-9603

メール: kankyo-s-event@city.hiratsuka.kanagawa.jp